

^{アクト}
森林×ACTチャレンジ 2025

審査基準

1 趣旨

応募者が提出する森林整備に関する取組内容や森林由来 J-クレジットに関する活用内容及び効果については、審査基準に基づき、外部有識者による審査委員会で審査する。

2 審査基準の詳細

＜森林づくり部門＞

森林整備に関する取組内容に係る各項目について、以下の審査基準を基に審査委員が 45 点満点で採点するものとする。

審査の項目	点数配分	審査基準
森林整備に取り組む背景・目的	5 点	森林整備の考え方・目的が、企業理念や森林整備実施地域の特色等を踏まえて分かりやすく整理されている。
「伐って、使って、植える」森林の循環利用への貢献	10 点	①ストーリー性 取組内容が、森林整備の考え方・目的等を踏まえた取組である。
山村地域の振興への貢献	10 点	②連携力 他企業や金融機関、地方自治体など様々なステークホルダーと連携した、実効性が高いと思われる取組である。
生物多様性保全への貢献	10 点	③新規性・独創性 新たな手法や技術の開発・活用、オリジナリティのある取組である。
その他公益的機能発揮への貢献	10 点	④持続性（継続性） 長期的に取組を継続している、又は計画の作成・対外発信などにより中長期的な取り組みへの見通しが示されている。
		⑤波及効果 森林整備の成果や意義等について情報発信に取り組んでおり、他の企業等の取組への波及が期待できる。

<J-クレジット部門>

森林由来 J-クレジットに関する活用内容及び効果に係る各項目について、以下の審査基準を基に審査委員が 45 点満点で採点するものとする。

審査の項目	点数配分	審査基準
森林由来 J-クレジット選択の理由・目的	5 点	<ul style="list-style-type: none"> ・ カーボンクレジットをオフセットに活用する際に、森林由来 J-クレジットを選択する理由・方針が明確になっている。 ・ 森林由来 J-クレジットの中から、購入先となるプロジェクトを選択した考え方・目的が、企業理念やプロジェクト実施地域の特色等を踏まえて分かりやすく整理されている。
森林由来 J-クレジットの調達方法・計画等 ※自らの事業活動で排出した CO ₂ のオフセット以外でのクレジット活用の取組である場合には、5 点の範囲内で加点	5 点 + 5 点	<ul style="list-style-type: none"> ①ストーリー性 取組内容が、森林由来 J-クレジット選択の理由・目的等を踏まえた取組である。 ②連携力 他企業や金融機関、地方自治体など様々なステークホルダーと連携した、実効性が高いと思われる取組である。 ③新規性・独創性 新たな手法や技術の開発・活用、オリジナリティのある取組である。 ④持続性（継続性） 長期的に取組を継続している、又は計画の作成・对外発信などにより中長期的な取り組みへの見通しが示されている。 ⑤波及効果 森林由来 J-クレジットの活用や森林整備の成果や意義等について情報発信に取り組んでおり、他の企業等の取組への波及が期待できる。
森林由来 J-クレジット購入による森林整備等への貢献	10 点	
（特に生物多様性保全に貢献する取組）	10 点	
森林由来 J-クレジット購入をきっかけとした森林・林業や地域の課題解決への貢献	10 点	

※自らの事業活動とは、サプライチェーン排出量である Scope 1～Scope 3 を指す。